

令和4年度 指定研究計画書

宜野湾市立宜野湾小学校

1 研究主題名

異文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図る児童の育成
～「触れる」「慣れる」「親しむ」外国語及び外国語活動を通して～

2 研究主題設定の理由

平成16年度から本市では、教育特区として、英語学習及び異文化理解への興味関心を高めるための特別なカリキュラムで英語教育を展開しており、英語教育課程特例校としてこれまでの取り組みを継続している。更に、その事業を引き継ぎ平成21年度より「宜野湾市小学校英語教育課程特例校事業」として小学校1年生（週1時間）からの英語活動をスタートし、英語スキルの向上と意欲を高める指導を取り入れてきた。

しかし、英語を「話す」「聞く」ことが楽しいと思う気持ち、「話せるようになりたい」という意欲の高さは伺えるものの、英語に対しての苦手意識を持つ子も多く、「話すのが恥ずかしい」「間違ったら笑われる」「うまく聞き取れない」など英語に抵抗がある児童がいる点は否めない。

そこで今年度も、上記の主題を設定し、本校の教育目標【指導の努力点】と校内研修の研究方針を踏まえ、外国語の授業（活動）において、英語で表現する楽しさや親しみを感じながら、主体的に英語でコミュニケーションを図る児童の育成を目指す。

そのためには、英語に触れ、慣れ、親しみながら、コミュニケーションへの苦手意識を克服していくための更なる授業改善と教材研究が必要である。

3 学年・領域

小学校 1 学年～4 学年 【外国語活動】

5 学年・6 学年 【外国語】

4 研究主任と組織

【研究主任】

【英語・国際理解担当】

【学年英語・外国語活動担当】 各学年1名

【ALT】

【JTE】

5 年間研究計画

(1) 本校の教育目標【指導の努力点9「国際理解教育・外国語教育の推進」】の趣旨と「校内研究主題「主体的に学習に取り組む態度の育成」の研究方針を踏まえて外国語学習（外国語活動）の充実を図る。

① 外国語（活動）の進め方や学習意義等について、学習開始前に全職員に対し、ALT・JTEによるオリエンテーションを実施。（4～5月）

② 英語ルームでのルールの確認やあいさつの仕方、掲示物の工夫。
（今年度は空調施設工事のため6月初旬予定）

③T1（HRT）とT2（ALT, JTE）の教材研究・ミーティングの充実。

④ 振り返りカードの具体的な書かせ方⇒振り返りの視点（【what「今日学んだこと」】
【so what「思ったこと」】【now what「これから、やりたいこと（活用できそうか）】）
の定着。

⑤ クラスルームイングリッシュや基本的なあいさつなど、各学級でいつでも使用できるよう、校内LAN・Googlechrome（電子黒板）を整備。

(2) 学期毎に複数回の部会（各学年英語担当）を実施し、成果や課題を検討する。
（6月，11月，2月）

6 校長所見

本市人材育成に係る理念を踏まえ、国際理解及び英語に対する本校職員の理解を深め、指導体制を確立し、指導の工夫改善を図り、英語・国際理解教育の充実に資する。

